



いしかわ労福協

第653/654号 2022年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 福田 佳央
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう



開会あいさつする福田理事長

第61回通常総会

労福協は、6月20日(月)、フレンドパーク石川において、第61回通常総会を開催した。

総会は、感染症拡大防止のため来賓を招かない短時間開催を旨として行われ、代議員全員が出席した。

議長に連合石川選出の高村伸幸代議員を選出して進められ、福田佳央理事長があいさつしたのち、2021年度一般経過報告、同年度会計報告・監査報告、会員団体の年会費等、役員補欠選任、役員報酬等が理事者等から順次提案され、全議案とも満場一致で可決承認され2021年度の総括と新年度へのスタートを切った。

福田佳央理事長は挨拶の中で、「昨日、珠洲市を中心とした大地震で被害に遭われた方へお見舞いを申し上げます。今後、ボランティアが必要となれば、現地と調整しつつ復興に向けた対応を行いたい。いつ発生するかわからない自

然災害への備え・対応が必要であることを再認識しなければならない。コロナ感染症は未だに毎日100人前後の感染者を生じていますが、今できる感染対策を講じつつ活動を進めていかなければなりません。世界的なコロナ感染拡大に加え、ロシアのウクライナ侵攻も

影響し原材料・エネルギー・食糧の不足や高騰により社会経済に悪影響を及ぼしていますが、労福協の目標でもある『福祉はひとつ』のもと、働く者、生活者の福祉・暮らし向上のためにも労福協活動を進めていかなければなりません。また、労福協事業の屋台骨となっている労働者自主福祉運動の推進・発展・伸張に取り組んでいかなければなりません。労福協を取り巻く環境は、2024年に予定されている労信協事業の日信協への譲渡などにより、会費収入等の減少が懸念されておりますが、労働者福祉事業が持続可能なものとしていくための検討を進め、今後も生き生きとした活動を進められるよう努力してまいります。」と労福協の現状と課題を述べた。

新たに就任した役員(敬称略)

理事：野村昇司(副理事長)、小水康史、

松岡芳春

監事：仙田卓嗣

2022 年度全国研究集会in静岡



サテライト会場

中央労福協は、6月2日(木)、静岡県コンベンションアーツセンターを主会場に YouTube Live による生配信により、全国の労福協を繋ぎ研究集会を開催した。

当協議会では、フレンドパーク石川をサテライト会場として開催し、Web 視聴者を含め 34 名が参加した。

今回のテーマは、「“TSUNAGARI”世代を超えて。」と題し、コロナ禍をきっかけに社会の急速な変化に対応し、よりよい未来の創造に向け

第1回事業団体連絡会議



労福協は、7月11日(月)、フレンドパーク石川において、2022年度第1回目となる事業団体連絡会議を全員出席で開催した。

昨年度と同様に、来年度に向けた県内各自治体への政策要望や各団体における個別要請内容の方向性を確認し、労福協理事会を経て決定することとした。

て世代を超えた取り組みの必要性に迫り、労福協 2030 年ビジョンの実現において、新しいつながりへの第一歩として、現代の若者たちの持つ感性、価値観、考え方や生き方などに触れ、同じ社会の担い手として一緒にできることはいかを模索することに主眼を置いた。

トークセッションによる集会にゲストとして参加した、鈴木智子氏(一般社団法人静岡県大学出版会代表理事)は大学生時代から大学や地域の情報提供をする情報誌の取材・編集・出版に携わってきた経験から、さらに範囲を広げ行政機関とも連携し地域で活動をしてきた経験をもとに、一般社会人と若者の持つ感性などの違いを報告した。また、岑永知早紀氏(静岡大学3年生、しずおかキャンパス編集代表)は現役大学生、かつ、新聞社連携の学生記者団の一員として地域で活躍する団体や人材を取材・編集している活動を通じ世代間の言語、考え方、見方の違いを痛切に感じた体験を報告した。

ファシリテーター(進行役)の日詰一幸氏(国立大学法人静岡大学学長)は、同じ言葉でも、若者が受け取る意味は異なる。また、世代間における感性の違いは大いにあり、互いの意見を受け入れ昇華させていくことで、世代間のつながりが太くなり、社会的課題の解決や地域おこしへのヒントとなるのではないかと締めくくった。



全国研究集会パネラー

第1回創立60周年事業検討委員会

労福協は、2023年に創立60周年を迎えることから、その記念事業の実施に向けて事業検討委員会を7月11日(月)に発足するとともに第1回の委員会を開催した。

委員には、8会員団体から各1名が就任し、11月末までに理事会に事業計画を答申することとした。

第 20 回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会



労福協ライフ・サポートセンターは、7月21日(木)、フレンドパーク石川において、第20回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会第1回実行委員会を開催した。

委員会には、金沢市グラウンド・ゴルフ協会、石川県障害者スポーツ協会、北陸労働金庫、労福協ライフ・サポートセンターから、計7名が出席し、本年度の大会開催を前提として、実施方法等について協議を行った。

今大会については、予備日を設けず、2022年10月31日(月)に開催することとした。

その他、競技ルール、スコアカードの集約方法、コロナ禍での開催の対策についても話し合わせ、「大会実施要綱」が確認された。今後、各地域LSC、石川県障害者スポーツ協会において予選会を開催し、本大会に臨むこととなる。

婚活イベント「第17回出会いの広場」



石川労福協は、コロナ感染対策を施し、約3年ぶりに7月2日(土)、ろうふく・むすび・ネット事業の婚活イベント「第17回出会いの広場」を、フレンドパーク石川2Fホールにて開催した。当日は男性10名、女性5名が参加し、自己紹介を行い、1対1のトークタイムを終え中

間マッチングを行った。その後ランチと、スイーツをフリータイムで食べた後、今回の目玉であるゲーム大会を行った。ゲームは、男女混合で2グループに分かれて、お題を回答していく内容で、ゲームが進むにつれて参加者が更に仲良くなっていく姿が見られた。最後に10分間のフリータイムでは、参加者が互いにアピールをした。その後最終マッチングを行い、今回は2組のカップルが誕生した。事務局も約3年ぶりの開催だったが、イベントを無事に終了することができ安堵した。この出会いを深めて見事ゴールインとなることを陰ながら応援したい。

これからの行事予定

(7月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
7月27日	水	労福協 第3回理事会	地場産業振興センター
29日	金	こくみん共済 coop 石川推進本部第5回代表者会議 石川県勤労者共済生協通常総代会	金沢流通会館
30日	土	食とみどり・水を守るいしかわNW 海洋資源学習会	高松北部海水浴場
8月1日	月	労福協 第2回創立60周年事業検討委員会	フレンドパーク石川
〃	〃	食とみどり・水を守るいしかわNW幹事会	〃
6日	土	女性のための安心生活相談会	金沢勤労者プラザ
9日	火	労福協 第2回事業団体連絡会議	フレンドパーク石川
18日	木	労福協 第3回三役会議	〃
23日	火	中部労福協 2022年度第2回幹事会(～24日)	富山市
26日	金	労福協 第4回理事会	フレンドパーク石川
29日	月	中部労福協 理念・歴史・リーダー養成講座(～30日)	岐阜市
9月5日	月	第1回自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
8日	木	中部会館協 令和4年度第2回幹事会	横浜市
〃	〃	全国会館協 第52回定期総会(～9日)	〃

北陸労働金庫 第21回通常総会



北陸労働金庫第21回通常総会が、2022年6月27日に開催された。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染防止のため、北陸労働金庫本店ビルを主会場として北陸三県の各支店を繋ぐテレビ会議での分散形式での開催となった。

冒頭、山岸克司理事長より、以下のとおり挨拶した。

「代議員の皆様、ならびにご来賓の連合石川福田会長様には、大変お忙しい中、また猛暑の中、ご出席いただき、心より感謝を申し上げます。

昨年10月1日、北陸労働金庫は創立20周年を迎えることができました。北陸の地で福祉金融機関として今日まで歴史を積み重ねてこられたのは、ひとえに会員と推進機構の皆さまの変わらぬご支援によるものと深く感謝いたします。

昨今、私たち勤労者の生活は、ガソリン代や電気料金などの値上がりもあり、以前にも増して厳しい状況が続いています。

このような状況を踏まえ、2021年度、当金庫は『生活設計・生活応援・生活改善』を3本の柱として『生活応援運動』を積極的に展開いたしました。

生活応援運動の中心として取り組んだ『ローン借換え運動』では、北陸3県で1,706名の方に借換えをしていただき、総額で約59億円を融資させていただきました。その結果、可処分所得向上額は1,706名のトータルで4億9,000万円、一人当たりの平均で約41万円となり、多

くの組合員から喜びの声を聞くことができました。

2021年度の業績につきましては、皆さまのご理解とご協力のおかげで総融資、総預金ともに目標をクリアすることができましたし、融資の新規実行につきましても総額620億円の目標を達成することができました。

次に2021年度決算について、経常収益では貸出金利息の減少に歯止めがかからず、前年比で2億3,500

万円の減少となりました。一方、経常費用は物件費が減少し、前年比で4億円の減少となりました。この結果、経常利益は前年度より1億6,500万円増加して8億8,500万円となり、税引き後の当期純利益も1億7,200万円増加して6億7,000万円となりました。

続いて2022年度の経営にあたっては、『ろうきん理念の実現』、『持続可能な経営基盤の構築』、『信頼される人財育成と管理態勢の強化』を3つの柱に掲げた第7期中期計画の最終年となり、きっちりと仕上げる覚悟で臨んでまいります。

このような厳しい環境下にあっても『働くあなたのいちばんそばに』のスローガンのもと、ワーク・ライフ・バンクとして、すべての働く人のために安定した金融サービスを提供していきます。そして、労金理念、労金らしさを大切にしながら、引き続き生活応援・可処分所得向上運動を積極的に展開するとともに、ライフステージに合わせた資産形成や生涯取引の推進をはかっていきます。また、インターネットやWEBを活用し、一層の利便性向上に努めていきます。

会員各位のご指導とご鞭撻をよろしく願いたします。」

議案審議では、「2022年度事業計画」など全議案が承認された。

最後に、「会員・推進機構や退職者組織等と共に、勤労者のための生活応援運動を展開しよう!」等の総会スローガンが採択され閉会した。

メーデー協賛「第54回写真サロン展」開幕

石川県勤労者文化協会(勤文協)主催の第54回写真サロン展は6月9日小松展を皮切りに県下7会場で開催された。金沢展の最終日となる7月24日には表彰式も開催され、多くの出品者や愛好者が訪れ力作を鑑賞した。



勤文協会長賞
「共演」
紺谷 英紀(金沢市)



北國新聞社長賞
「大好物」
橋本 良信(金沢市)



金沢市長賞
「越冬蛙」
仲原 正由(金沢市)



七尾市長賞
「狐の嫁入り」
干場 茂臣(志賀町)



小松市長賞
「二律背反」
高屋 利行(金沢市)



輪島市長賞
「威風堂々」
坂本 茂吉(津幡町)



加賀市長賞
「惜春」
舟野 喜代子(金沢市)



白山市長賞
「雪模様」
掛場 清美(金沢市)



能美市長賞
「お疲れさま」
鍛冶 翔太(金沢市)



2022年度 里山里海保全ボランティア



NPO 法人 さわやかUが実施する「里山里海保全ボランティア」(クヌギ林草刈りボランティア)に7月7日(木)~8日(金)にかけて8名が参加した。

珠洲市東山中町内の唐笠山にある菊炭(茶道等に用いられる)の原材料となるクヌギの育成を

助けるための下草刈りを行った。

当日、暑い日であったが、時折、涼しげな風を感じながらの作業となった。

参加者のほとんどが、このボランティア活動



の経験者で、慣れた手つきで草刈り機を操り、みるみるうちに下草が刈り取られていった。

爽やかな汗をかきながら、あらためて自然の大切さを感じる一日であった。

勤 体 協

第55回 県勤労者夏季体育大会 《バスケットボール大会》

男子1組

7月3日・金沢市額谷ふれあい体育館

◇予選

- ① 庶民シュート ② 珠洲クラブ
- ③ KZB ④ O・P・I
- ⑤ First Finger ⑥ 大将

◇決勝

- ① 庶民シュート 60-42 珠洲クラブ

男子2組 7月10日・野々市市民体育館

◇予選

- ① ナダクラ ② YAKAMORI
- ③ HF10XWL ④ Edees ⑤ RAVE

◇決勝

- ① YAKAMORI 54-52 ナダクラ

《ソフトボール金沢大会》

1組

7月24日・専光寺ソフトボール場第2球場

- ① 茶虎会 ② クレイコース
- ③ 美ing 工房 TSU